

1. 科目名 (単位数)	労働法 (労働基準法) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3338 SNMP3338 SCMP3338 SBMP3338 PSMP3309
2. 授業担当教員	小西 洋平		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	労働衛生学、労働安全衛生法、社会保障論		
7. 講義概要	20 世紀末以降労働関係法令は新しいものがいくつも制定され、かつ既存法も大幅に内容が改正されてきた。 そこには、社会における新しい雇用形態や労働条件の変化が大きく影響している。本科目では、労働基準法の基本構造を学ぶとともに、新たに制定された労働契約法や男女雇用機会均等法のほか、パートタイム労働法や派遣労働法も対象領域とする。基本事項を抑えた上で、判例等を参照しながら実際に法律が裁判でどのように効力を発揮しているか実践的な知識の獲得を目指す。 なお、労働組合活動の退潮もあり、労働組合活動を対象とした集団的労働関係法は扱わない。講義は教科書に沿って進行する。随時、テーマを設定してディスカッションを行い、自宅学習で議論の集約、文章化の訓練を行う。最終授業では、実際の試験問題を用いた基礎知識修得状況の検証を行う。		
8. 学習目標	・労働(基準)法の基本構造を理解し、説明できるようになる。 ・労働関係法令の基本事項を理解した上で、判例等を通じて実際の場面への適用のされ方を説明できるようになる。 ・日本社会において働く上での法的な争点を理解し、現在の労働問題や労働紛争について自らの意見を発表することができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	【アサイメント(宿題)】 1. 授業は事前学習を前提に進められるので、教科書の読み込みや用語の下調べを授業前に必ず行っておくこと。 2. 授業内容に沿ったグループワークやディスカッションの時間を設けるので、積極的に参加、発言すること。 【レポート課題】 1. 授業内容に沿ったミニレポート(記事、雑誌、ニュース、判例の要約や分析)を課すので、毎回出席し、必ず提出すること。 2. 学期内に1回、テーマを指定しての中間レポート(1600字程度)作成を課すので、必ず提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】原昌登『コンパクト労働法<第2版>』新世社、2020 年。 【参考書】水町勇一郎『労働法入門 新版』岩波新書、2019 年。 東京福祉大学編『教職科目要説(中等教育編)』ミネルヴァ書房。 労働基準法、労働契約法等労働法例を含むもの(各自インターネットより抽出)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 8 の学習目標の達成度を基準に成績評価を行う。 ○評定の方法 1. 論述力の確認。期末試験、課題レポート、予復習提出分などで評価。50% 2. 発表力。課題レポート内容の発表、授業中の発言の積極性などで評価。50% 上記 1 および 2 を総合判断して行う。		
12. 受講生へのメッセージ	労働法(労働基準法)を学習するということは、社会人になるための準備だと考えてください。大学の授業ですので専門的な内容を学習していきますが、労働法(労働基準法)に定められたルールに基づいて行われた裁判(判例)を就職後の自分自身の問題として捉えながら授業に参加してください。労働関連法の範囲は広く、制度改正も頻繁なので制度内容を細かく覚えるというよりは、労働関連法に貫かれている理念や労働者の権利と義務から労働問題について考え、自身の意見を発信できるようになりましょう。		
13. オフィスアワー	授業内で通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	労働法とは何か?	事前学習	教科書第 1 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 2 回	雇用の基本ルール	事前学習	教科書第 2 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 3 回	労働法上の当事者	事前学習	教科書第 3 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 4 回	採用	事前学習	教科書第 4 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。

第 5 回	人事	事前学習	教科書第 5 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 6 回	懲戒・ハラスメント	事前学習	教科書第 6 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 7 回	労働関係の終了	事前学習	教科書第 7 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 8 回	賃金	事前学習	教科書第 8 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 9 回	労働時間	事前学習	教科書第 9 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 1 0 回	休暇・休業	事前学習	教科書第 10 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 1 1 回	労働条件の変更	事前学習	教科書第 11 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 1 2 回	非正規労働者	事前学習	教科書第 12 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 1 3 回	労働者の安全と健康・労働災害	事前学習	教科書第 13 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 1 4 回	労働者の人権の保障・雇用差別	事前学習	教科書第 14 章を熟読。疑問点を整理しておく。
		事後学習	教科書のポイントを整理し、授業中に提示されたテーマについて他者に説明し、文章化できるか点検する。
第 1 5 回	総復習 社会福祉士(精神保健福祉士)国家試験における労働関連法の出題実績を検討	事前学習	教科書全体を再度精読しておく。
		事後学習	15 回の授業内で学んだことを総復習し、期末試験に備える。
期末試験			